

2020/2/14～2/24

2020春キナシベツワークキャンプ ～参加者からの報告～



目次

1. 参加メンバー
2. 受け入れ先について
3. 直販所製作
 - 床貼り
 - 壁貼り
 - デザイン
4. アオサギコロニー調査
5. 自然誌調査
6. 野外セミナー
7. ワシタカ調査
8. フィールドトリップ
9. セミナーについて
10. ワークキャンプ中の生活

参加メンバー



【受け入れ先】

キナシベツ湿原を愛する会

代表：榊原 源士(さかきばら げんし)さん



トラストの家 キナシベツ湿原を愛する会

キナシベツ湿原を愛する会

活動

- キナシベツ湿原周辺環境調査と保全
- 看板作成などによる地域への呼び掛け
- ワークキャンプを通じた環境教育

など



キナシベツ湿原

直販所作り(床・柱)

直販所を作る目的：近くを通りがかった人の休憩所兼憩いの場を作る
掲示板などを設置して情報交換の場にもしたい



1) 枠組み

作業の内容

- 1) 大まかな枠組みができている状態
- 2) 床板を張る
- 3) 柱を立て、補強する



2) 床張り

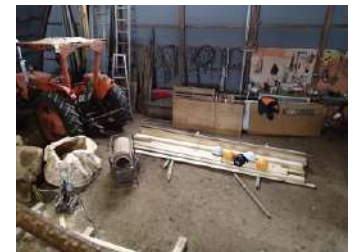
主に電動ドライバーとねじを使って床板と柱を固定



3) 柱立て

補強のため、筋交い用のくばみを作る。のみとのこぎりを使用

↑木材をのこぎりで切り出す。まっすぐ切ることが難しい



・ 資材置き場

作業の流れ



(1) 榊原 源士
さんから直売
所の説明を受
ける



(2) つなぎと
ネックウォー
マーで作業、
寒い



(3) ドライバー
に体重をかけ
ながら床板を
嵌めていく



(4) 余った隙間に
細かく切り出し
た木材を嵌めて
床が完成



(5) 間柱にのみと
のこぎりで溝を
彫る



(6) 掘った溝に
沿って片筋交い。
柱も完成

直販所・壁貼り

2020/2/20(WC7日目)

直販所の壁を作業場に運び入れ、（→写真1）

かなづちを用いて釘で壁を貼り付けた（今回は直販所の片面のみ）。（→写真2）



写真 1



写真 2

貼り付け 終了後

★反省点

- 一部壁の割れが見られた
→釘を打つ位置の改善
や、壁の土台となる木組
みの平滑化
- 雨にさらされた際、釘
の錆が流れ、見た目が
悪くなる可能性がある
→さびにくい釘の使用
を検討する



直販所 壁のデザイン

キナシベツをアピールでき、人を集められるようなデザインを考えた。

左側

タンチョウの絵と
「旅の駅」の文字で目
立つように
&
花の絵で夏のキナシベ
ツを表現

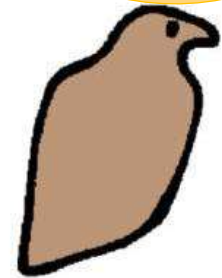


直販所

北海道の愛らしい動物の絵を描き、
目を惹くだけでなく
来た人が入りやすいような入口に

右側

大きく描いた
オジロワシと「さす
らいの牛舎」
背景は、キナシベツ
の豊かな自然と
牛舎らしさを残す壁



今回は、右側の壁を描き進めました！



色鉛筆とマジックで下書きした後、
ペンキで本書きをしました。

デザイン案を、大きな壁に描き
なおす作業がなかなか難し
かったです。



アオサギコロニー調査

キナシベツ周辺の環境の状態を把握するためアオサギコロニー調査を行いました。



調査方法

中心となる木を決め、そこから北東・南東・南西・南東の4グループに分かれて巣のナンバリングと巣の大きさ・高さ・数、巣のある木の高さや立ち枯れ度などを記録しました。最終的には、42個のアオサギの巣を確認することができま



落ちてしまった巣

落ちてしまった巣の残骸の中
にあったアオサギのヒナの骨
と羽

自然誌調査

自然誌調査は、キナシベツ周辺の自然環境の
状態や場所を記録し、長期的に自然の状況を把握
することを目的として行われている調査である。

自然誌調査

今回の自然誌調査はキナシベツ湿原の外側周辺で行いました。



クロスカントリースキーを履き、二次林周辺やヤチボウズの群生地を歩きながら特徴的な場所を地図に書き込んでいきました。

野外セミナー



野外セミナーでは、キナシベツ周辺をクロスカントリースキーで巡ったり、歩いたりしてキナシベツの環境について学びました。



クロスカントリースキーは初めは慣れずに転んでしまう人も多かったです。



今回の野外セミナーでは、湿地、原生林、二次林、川、海岸などを見て回りました。



こんな珍しい生き物にも出会
えました！



キナシベツの自然の豊かさ、奥深さ、そして貴重さを知ることが出来ました。



ワシタカ調査

概要

日時：2月23日

地域：キナシベツ周辺

方法：車で調査地点へ移動し、各地点で下車し数分間
周囲の猛禽類を探す(移動中に発見した場合も記録)

目的

- ・ワシタカ保護のためのデータ収集
- ・キナシベツ周辺の自然環境の把握

高次捕食者である猛禽類の変化から、生態系全体の変化がある程度把握できる



オオワシ
(調査とは別日別地で撮影)

結果

- ・ オオワシ、オジロワシ：合計53羽
- ・ その他：クマタカ、ハヤブサ等

かなり強い風が吹く地点もあったが、天気が良かった影響か、1日の調査で多くの猛禽類が観察できた。



↑調査の様子

～フィールドトリップ～

北海道道東部の自然と歴史を肌で味わうというのを目的に霧多布岬を目的地に1日道東を見て回りました。

道中、漁港や湿原などを訪れ、多種多様な野鳥、野生動物に出会うことができました。



旅の始めは釧路湿原へ。サバンナにも見える湿原にエゾシカ、オオワシ、オジロワシなど北海道ならではの野生動物に出会えました。



道中、コミミズクにも遭遇しました。



漁港に現れたゼニガタアザラシ。一同大興奮



コクガン



ハヤブサ



オオワシ



オジロワシ



目的地の霧多布岬にて。ラッコには出会えませんが、
様々な海鳥に出会うことができました。



ケイマフリ



ウミバト

セミナー

アイスブレイク
(合意形成セミナー)では
雪山で遭難しました！



みんなで相談した結果、生き残るためには帽子の
必要度は低いことがわかりました！



足跡セミナーでは
雪上のフィールドサイン
について学びました！



次の日からみんなで
痕跡を探していました！



タンチョウセミナーでは
釧路市動物園の方が
タンチョウの研究について
お話してくださいました！



野生の個体を観察しているだけでは
わからないことを
数多く知ることができました！

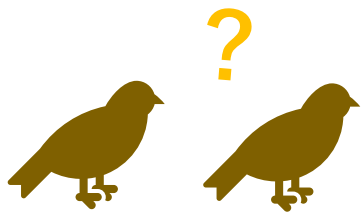
アオサギセミナーでは
北海道アオサギ研究会の方が
北海道でのアオサギの生態について
詳しく教えてくださいました！



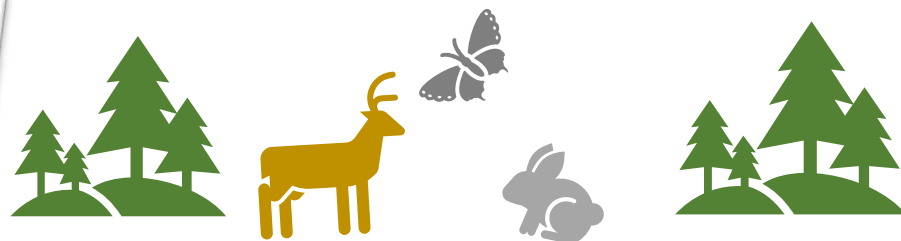
コロニーの移動や営巢、
アオサギの成長について
知ることができました！



ワシタカセミナーでは
オオワシやオジロワシ
猛禽の飛翔時の見分け方を学びました！



最終日の自然保護セミナーでは
ワークキャンプで学んだことを活かし、
自分たちなりの自然保護の方法を
導き出すことができました！



ワークキャンプでの生活



自炊ではおにぎりが
野鳥やキャラクターに
変身し、食卓がにぎや
かになりました！



この日は休憩所に集まり
ジンギスカンと鹿肉を
楽しみました。

ワークキャンプでの生活



毎晩カードゲームで遊び、
大盛り上がりでした！

なんと窓のすぐ外に
クマゲラが現れ、
全員が夢中になって
観察しました。

